

(枕草子①)

枕草子 ↓(作者)

春はあけぼの。やうやう白くぬるる

山ぎは、すしあかりて、紫だちたる

雲のほそくたなむすんだる。

夏は夜。月のころは、はらりやみも

なほ、螢の多く飛びちがひたる。また、

ただ、いづれかの、ちかちか光りて

行くもかきし。雨など降るもかきし。